

令和 3 年度 園の自己評価

|                             |                                                                 | 評価<br>(1～5) | 今年度の状況                                                                   |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 教育・保育                       | 園児一人一人が安心感と信頼感をもって活動に取り組む体験を十分に積み重ねられるようにする                     | 5           | 子どもの気持ちを尊重し、無理強いすることなく一人ひとりの姿を受け止めながら、子どもの育とうとする力を信じて見守った。               |
|                             | 主体的な活動を促す環境の工夫をする                                               | 4           | 子ども達の興味や遊びの姿に合わせて、コーナー作りをしたり、用具や材料を準備したりなど、環境作りに努めた。                     |
|                             | 自発的な活動としての遊びを通して指導を行う                                           | 4           | 遊びの時間を十分にとり、子ども達がしたい遊びを自ら選び、楽しむ中での学びを大切にした。                              |
|                             | 園児一人一人の特性や発達に応じた指導を行う                                           | 5           | クラス間、職員間で共通理解を図り、安心して過ごせる環境作りや援助を心掛けた。                                   |
|                             | 活動によって幼保連携型認定こども園教育保育要領に示されている3つの資質・能力が育まれている                   | 4           | 3つの資質、能力に繋がる生活や活動は取り入れてはいるが、具体的にどう繋がっていくかなどの意識は低かった。                     |
|                             | 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を意識し、教育・保育にあたっている                              | 4           | 保育を振り返り、姿が当てはまってはいるが、一つ一つを意識しという点では足りなかったと思う。                            |
|                             | 小学校との連絡会に参加し、小学校教育と円滑な接続ができるように情報交換をしている                        | 5           | コロナにより、交流の場はなかったが、一人ひとりについて学校側との情報交換をすることはできた。                           |
| 健康支援                        | 学校保健計画に沿った保健活動を行う                                               | 4           | コロナ禍ということもあり、集団での保健活動は制限があり、個々に声かけや保育室を回り、健康に過ごせるようにした。                  |
|                             | 園児の機嫌や食欲、顔色を観察し、平常とは異なった状態かどうか注意を払っている                          | 5           | 各クラス毎に検査、検温、指針を行い、平常と異なる状態の時は、園長、主幹、看護師、担任で情報共有し、対応を考えた。                 |
|                             | 体調不良や怪我が発生した場合、保護者に園児の状況を連絡し、適切な対応をとっている                        | 5           | 園長、主幹、看護師、担任で情報共有し、状態に応じて保護者へのお迎えの連絡、園児の隔離、病院受診を行った。                     |
|                             | 園児の成育歴や罹患歴、予防接種状況などの情報を把握している                                   | 5           | 入園時と進級時に保護者に保健調査票のチェックをしてもらう。感染症罹患後の登園時に登園届や治癒証明書を提出してもらう。               |
|                             | 保健だよりにて情報発信をしている                                                | 5           | 季節にあった情報や、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、園の感染対策法や感染状況などをお知らせした。                      |
|                             | 感染症に対して感染症情報を保護者に伝え、感染症予防に努めている                                 | 5           | ほけんだより、ホワイトボードに感染状況を掲示したり、入室制限のある時は玄関にプリントを掲示したりした。                      |
|                             | 感染症の疑いのある園児に対し、他児と接触しないようにするなど適切な処置、対応をしている                     | 5           | 嘔吐処理など適切に行い、発熱、かぜ症状、腹部症状のある園児は事務室で隔離してお迎えまで様子を見ることとした。                   |
|                             | 睡眠チェックを年齢に合わせて必ず行い、SIDSの危険因子が無いようにしている                          | 5           | 0・1・2歳児クラスは睡眠チェック表にて観察、体位のチェックを行い、午睡中の園児周囲や室温湿度など環境を整えた。                 |
| 食育                          | AEDの使い方も含めた心肺蘇生法について職員全員が理解できるようにしている                           | 4           | 心肺蘇生法やエビペンの使い方をクラス単位で行ったが、2クラスしか回れなかった。周知できるよう方法を考えていきたい。                |
|                             | 食育計画に沿って園児が食への興味や関心を高めることができるような活動や関わりをしている                     | 4           | 直前に担任とも再度話し合い、子どもの興味を引き出せるように努めた。                                        |
|                             | 安全、安心な給食やおやつを提供をしている                                            | 5           | 衛生管理など徹底して行い、提供時間から逆算して調理を開始するようにした。                                     |
|                             | 旬の食材を使用したり、行事食を取り入れたりするなど季節を感じられるような献立作成をしている                   | 5           | 献立作成時から、旬の食材や行事食を意識的に取り入れ、季節感をもてるよう務めた。                                  |
|                             | 栄養だよりにて情報発信をしている                                                | 5           | 毎月給食だよりを発行し、行事食や園での食育の状況など発信するよう努めた。                                     |
|                             | 食物アレルギー対応を適切にしている                                               | 5           | 毎年アレルギー児、保護者と面談を行い、家庭との情報共有を行った。<br>また、色別食器、トレイ、個別の除去献立作成を行い、誤食が無いよう務めた。 |
|                             | 離乳食は家庭と情報交換をし、一人ひとりに合わせた献立を作成し、提供している                           | 5           | 担任とも相談を重ね、個々の成長に合わせた離乳食提供を行った。                                           |
| 環境・衛生管理                     | 室内の換気を適宜行い、室温、湿度や明るさ、音の大きさなど園児が心地よく過ごせる環境を整えている                 | 5           | 新型コロナウイルス感染症予防もあり、常に換気を行った。各保育室の加湿空気清浄機を保育中は常に使用した。                      |
|                             | 嘔吐物、排泄物の処理に当たっては感染防止のための処理を徹底している                               | 5           | 嘔吐物処理はマニュアルを周知し、素早く対応している。オムツ交換時の手洗いや消毒も徹底している。                          |
|                             | 衛生的な空間で園児が生活できるよう、丁寧な清掃を行っている                                   | 5           | 全ての清掃場所を担当で割り振り、責任をもって清掃した。玩具消毒も丁寧に行えている。                                |
|                             | 調乳や園児の食事介助の際には、手洗いや備品の消毒をするなど衛生面の配慮をしている                        | 5           | 調乳、食事介助前には手洗い、エプロン着用をした。テーブル拭きなどの清潔にも毎日配慮できている。                          |
| 災害への備え                      | 学校安全計画・危険等発生時対処要領に基づき、災害等の発生に備えるとともに、防火設備、避難経路等の安全点検を定期的に行っている  | 5           | 定期点検は欠かさず行えた。担当以外の職員も日々安全点検を行った。                                         |
|                             | 危険等発生時対処要領に基づき、緊急時の対応の具体的内容、手順、職員役割分担について確認をしている                | 4           | 避難訓練を通して、気づいた点等を職員間で共有している。新任職員等でもすぐに動けるように、指導していく。                      |
|                             | 毎月1回、避難訓練及び消火器訓練を行い、反省をして改善点について検討している                          | 4           | コロナ禍で計画通りに進まなかったこともあった。消火器訓練は次年度から毎月実施したい。                               |
|                             | 災害発生時の保護者への連絡、子どもの引き渡しを円滑に行えるよう体制や手順を決め、引き渡し訓練で確認をしている          | 5           | 保護者の方と協力し合い、災害に備えた訓練を行った。                                                |
|                             | 防災備蓄を用意し、保存期間の確認、必要に応じた入れ替えを行っている                               | 5           | 各クラス、園全体に備蓄食や備品を用意し、定期的に確認をしている。                                         |
|                             | 園児の人数確認を定期的に行い、所在把握をしている                                        | 5           | 活動の節目毎登、所在や人数を確認し、職員間で共有している。                                            |
| 事故防止                        | 遊具や玩具の安全点検を定期的に行っている                                            | 5           | 日々の保育中に各職員が、危険物や玩具の破損等がないか確認している。異常が見られる際はすぐに園長に報告し、職員間で周知させた。           |
|                             | 園外での活動に際して、事前に危険箇所を把握し、安全に活動できるようにしている                          | 5           | 園外活動の際に危険物や危険個所があった際は、市役所への報告や園内での共有を行い対処した。                             |
|                             | 日常的な事故予防として、ヒヤリハットを収集、分析し、事故予防対策に活用している                         | 4           | ヒヤリハット報告を都度行い共有したが、分析や事故予防対策はもっと行えたら良かった。                                |
|                             | 不審者の対応など危機管理について職員で周知している                                       | 3           | 「たけのこさんがきた」という不審者ワードが周知されていないため、共通理解ができるように努めていく。                        |
|                             | 睡眠、プール活動、水遊び、食事等の重大事故が発生しやすい場面について、マニュアルに基づきその場面に応じた適切な対応を行っている | 4           | 誰でも適切な対応がとれるように、看護師を中心として会議や講習を行っているが、コロナ禍で新任職員への講習が十分にできなかった。           |
| 子<br>支<br>援<br>て<br>の       | 保護者が積極的に半日保育体験に参加していただけるよう文書や掲示等で促している                          | 4           | コロナ禍ではあったが、できる限り参加していただけるように期間を設けた。                                      |
|                             | 保護者からの相談に対してはプライバシーの保護や守秘義務を守り、親身に耳を傾ける態度で対応する                  | 5           | 担任だけでなく、園長、主幹が相談にのったり、職員間で対応方法の研修を受けたりした。                                |
|                             | 状況に応じて内部の体制をとったり、外部機関との連携をとり、適切な家庭支援を行う                         | 5           | 療育施設や教育センター等と連携を図り、保護者支援や職員への助言していただいた。                                  |
|                             | 地域における子育て家庭の保護者等に対する支援を適切に実施している(育児相談・園庭開放・子育て情報誌)              | 5           | コロナ禍で来られる方は少なかったが、何度も園庭開放にお越しくださる方もいた。                                   |
| 資職<br>上<br>質<br>員<br>向<br>の | 内部研修を計画的に行い、職員が共通認識の下で教育・保育にあたることができるようにする                      | 5           | 園内研修でグループワークや課題を提示する等、一人ひとりが保育について考えたり、発言したりする機会を作った。                    |
|                             | キャリアアップを含む様々な内容の外部研修に参加できるよう職員体制を整え、資質向上に努める                    | 5           | コロナ禍ではあったが、職員がキャリアアップ研修に積極的に参加してくれた。その後情報を共有することができた。                    |